

写生地紹介

裏磐梯と湖沼群

室井 皆共

会津の自然は、裏磐梯の檜原湖、五色沼などの湖沼群が、かもしだす、華麗な景観と、磐梯山と猪苗代湖がかたちづくる広々とした空間、奥会津の厳しい緑豊かな山々と溪谷などの美しい自然に恵まれ画題も豊富です。

◀ 檜原湖



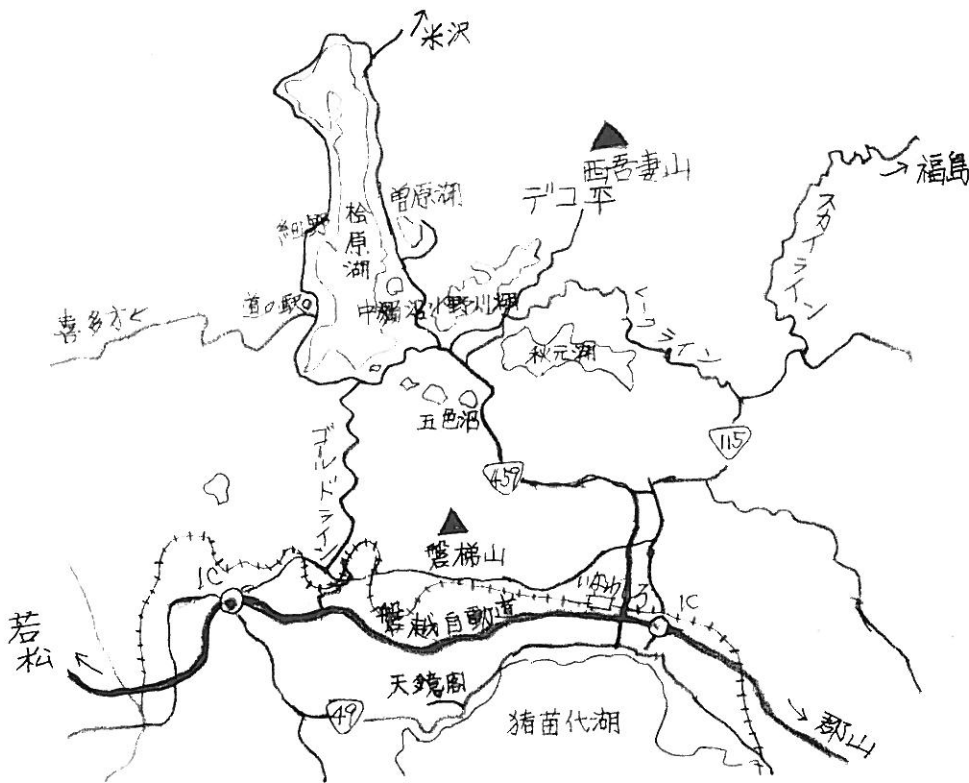
また、古くから栄えた仏教文化の遺産として、寺院、仏像彫刻が数多く残されています。会津藩の武家文化や、漆器、酒造などの伝統産業も今に伝えられています。

私は四季折々に変化する、豊かで、厳しい会津の自然と、秀れた仏教文化の遺産である寺院等をテーマに制作に励んでおります。特に厳しい冬の景色が好きです。版画家斎藤清は「会津の冬」をテーマに、雪にうずもれた民家と、人々のくらしと、風景等の秀作を数多く残しておられます。たゞ、会津は豪雪地帯です。特に猪苗代、奥会津は積雪ふぶきの為、交通のとだえることが、しばしばあり、要注意です。

新緑、紅葉の裏磐梯、奥会津は素晴らしいので、スケッチには最適だと思います。では、裏磐梯の私の写生地を紹介します。

五色沼

裏磐梯を代表する神秘の湖沼群。この湖沼群をめぐるコースは、高低差も少なく、よく整備されているので、最も親しまれている。磐梯山の噴火によって、できた、大小さまざまな湖は東側（五色沼駐車場）から、毘沙門沼、赤沼、みどり沼、竜沼、弁天沼、るり沼、柳沼等の順で、全長1km、1時間30分の散策コースです。アカマツを主に、ウダイカンバ、ウズミサクラ、カエデ類、ウツギ類などの落葉樹が混じる林間の探勝路は夏で



も涼しく、イーゼルをたて、油絵を描く、グルーブをよく見かけます。

磐梯山の火口原から流れ出る酸性の強い水に、地下からの湧き水や、他から流れ込む水が、混じり合った結果、彩かなエメラルドグリーンやコバルトブルーなど、さまざまな色あいの沼の美しさは、季節や天候によって変化し、神秘的なたゞずまいと、沼越しに見る双耳峰の磐梯山が美しい調和を見せております。

檜原湖

磐梯山の噴火によってできた、約300もの大小さまざまな湖沼のうち、五色沼、

檜原湖、小野川湖、秋元湖などは、四季折々に美しい表情を見せてくれます。

特に、野鳥の生息地として有名な檜原湖周辺は、遊歩道や、キャンプ場も多く人気が高い所です。

檜原湖東岸の全長3.4km、約1時間10分の遊歩道は、アカマツ林の中の歩きやすい歩道です。複雑に入り組んだ入り江には、噴火や溶岩の流れによって出来た、大小、さまざまな小島が浮かび、舟付場あり、裏磐梯唯一の吊橋があり、キャンプ場があり、楽しい場所になっています。時折姿を見せる裏磐梯の雄姿と湖岸の景色の組合せは変化に富み、モチーフも

豊富で、スケッチの好適地になっています。

中瀬沼探勝路

裏磐梯高原のほぼ中央に、全長12km約30分の、比較的平坦で、気軽に探勝出来る、明るく、気持ちよい遊歩道があります。周辺の低湿地には、ハンノキ林、シロヤナギ、小高い所にはアカマツ、ウダイカンバ、カエデ類などの木々が茂り、それらの木々には、ヤマブドウ、ツタウルシ、ツルウメモドキなどの、つる性植物が、からみ、秋の紅葉時には、一段とその彩りを増して美しい。コース途中の高台にある、あずま屋からの眺望はすばらしい。樹海の中に複雑に姿を見せる中瀬沼、荒々しい岩層を見せて樹海の上に横たわって見える裏磐梯の情景は、ドラマチックで壮大です。いつも、多くのカメラマンや絵を描く人で賑っています。

デコ平

小野川湖の奥、西吾妻山の中腹に、バラエティ豊かな自然があります。五色沼入口より、小野川湖南岸道路の終点がハノラマゴンドラの発着駅、ゴンドラで15分、1390mの高原がデコ平です。デコ平湿原、ブナの自然林、布滝等、変化に富んだ探勝路は心地よい。フジバカマの草原に点在するブナの巨木は構図がとれ易い。ウメバチソウ、エゾリンドウ等の花々が咲き競う湿原を囲むように、アオモリトドマツの古木、倒木が林立する情景は、別世界です。



◀ 五色沼



◀ デコ平湿原



▼ エゾミツバキ



▼ 檜原湖